

令和5年度第1回岡山県医療対策協議会・新たな財政支援制度検討部会【議事概要】

1 日 時：令和5年6月9日（金）14:00～14:50

2 場 所：医師会館4階 402会議室

3 出席者：別紙のとおり

4 議題

(1) 医療介護総合確保促進法に基づく令和5年度岡山県計画（案）について

(2) 平成26～令和4年度岡山県計画の事後評価について

(3) 令和6年度岡山県計画策定スケジュール（医療分）について

※議題（1）については非公開

6 議事概要

【非公開】

(1) 令和5年度岡山県計画（案）の医療分について、資料に沿って計画内容を説明。当部会での意見を踏まえて必要な修正をおこない、国との最終的な調整後、国へ正式に提出する予定。

本部会での意見を反映させ、本県が令和5年度岡山県計画を取りまとめることについて、委員の承諾を得た。

【公開】

(2) 平成26～令和4年度岡山県計画において、事業期間を令和4年度を含めた複数年度で設定している事業及び令和4年度岡山県計画において実施した事業の事後評価についての概要説明。

本部会での意見を反映させ、本県が平成26～令和4年度事後評価を取りまとめることについて、委員の承諾を得た。

〈委員からの質問〉

- ・ 地域医療勤務環境体制整備事業のアウトカムの達成状況について、客観的な労働時間管理方法とはどのようなものか。

〈事務局回答〉

- ・ この事業を活用して整備しているものは、タイムカードのweb管理などである。

〈委員からの質問〉

- ・ 地域医療勤務環境体制整備事業のアウトカム指標からすると、事業は概ね上手くいっているということか。

〈事務局回答〉

- ・ 導入済み施設が、令和元年度は48施設だったが、令和5年度は80施設なので、まずまずといったところである。

〈委員からの質問〉

- ・区分2の「薬剤の適正な服用に向けた支援体制整備事業」では、65歳以上で1種類以上の投薬を受ける患者数が7.9%減となっているが、良かったということなのか、まだもう少しということか。

〈事務局回答〉

- ・令和4年度の前半までコロナということもあり、方向としてはいいと思うが、正確な数値というのは、もう1年後ぐらいの方がいいと考えている。

〈委員からの質問〉

- ・計画の提案段階におけるアウトカムに関して、県の計画との整合性はどこまでチェックをしているのか。また提案団体が県の計画を尊重していただけるのか。提案団体と、採択を検討される県との位置関係を説明していただきたい。

〈事務局回答〉

- ・実際に提案があつてからアウトカム指標を検討するにあたり、事業課と相談しながら決めるが、県計画に合わせて全てがそこに向けてやっていくというような決め方ではない。お互いに話をして決めていくというような形をとっている。先ほど薬剤の適正な服用といった話があつたが、本年度、医療費適正化計画を見直すことになっており、その中で、協議会の方でも委員の皆さんや先生方と一緒に、それに向けての検討をしていきたいと考えている。

〈委員からの質問〉

- ・区分6の事業について、予算的にはどうか。
- ・全部の医療機関で事業を行う場合、この予算で足りるのかということも含めてどうか。

〈事務局回答〉

- ・2900万円ほど予算を用意している。ただ、実際お金のかかる事業の場合もあり、お金がこれだけあるので、どれだけの期間できるというものも一概ではないので、それは相談していただければと考えている。
- ・そういったことも含めてこの補助になると考えている。ご自分のところで他のシステムと連動して入れるということもあると思うので、またそういうことがあれば、県に相談していただきたい。

〈委員の意見〉

- ・区分2の「薬剤の適正な服用に向けた支援体制整備事業」のアウトカムについて、事業概要が、薬剤師の育成または調整を行う医師との連携なので、例えば連携を主体にした回数、薬剤師側からの提案数、調整する医師からの相談件数というようなアウトカムがあっても良いのではないか。
- ・お薬手帳が医院ごとに違うという方もいるので、その辺がこれからの課題だと感じる。1つだけ持ってこられたら、薬は2、3種類だが、全部出したら11種類を超えるということがあり、そういう方法というか周知を十分していかなくちゃいけない。それもこの区分2に入ると思うのでよろしく願います。

【公開】

(3) 令和5年度岡山県計画策定スケジュール(医療分)(現時点での想定)について説明

〈委員の意見〉

- ・例年このようなスケジュールで行われているが、最終的に8月に内示が出るということで新規の事業についてはラッシュ状態になると思うのでよろしく願います。既存の継続事業については、そのまま続けていけばいい。
- ・7月から行う各団体からのヒアリングにおいて、既存事業については計画に沿った事業として更に飛躍したものになっているかということ、アウトカム指標については、新たに策定しているか、もしくは既存計画等のアウトカム指標と整合性が取れているのかどうかということも含めて、提案団体と調整させていただきたい。
- ・基金はほとんど硬直化しており、新規の事業をやるにしても、少額なところから始まることになる。国の事業でずっと続いているものがあり、一方で基金の原資は増えないため非常に厳しい状態である。新しい事業もどんどん出てきていると思うので、ぜひ優秀な事業であれば、何か古い事業とくっつけて、変えていくというようなことをしていかないと、この基金もなかなか有効に活用ということにならないのではないかと。

〈委員からの質問〉

- ・令和5年度の新規事業の区分4で、「子ども虐待への対応が可能な医師の養成事業」が挙げられているが、これの研修回数などはどうなっているのか。

〈事務局回答〉

- ・この事業は計画段階で、今年から初めて実施するものであり、研修会を1回、講演会を1回、それから事例検討会、そういったものも開催していきたいと考えている。

〈委員の意見〉

- ・岡山県児童対策協議会は任意団体で、病院の支援で今まで運営してきた。しかし現在の予算では、講師を呼ぶことができず、特にBEAMS研修会は、それなりの資格を持った人間でないと指導できない。岡山県には残念ながらいないため、全て外注となる。基金の予算については控え目に出させていただいた。そもそもBEAMSの岡山県での知名度が非常に低いので、まずその違いをあげるところや認知度を上げるところから主にやっていかなければいけないとは思っている。時間もかかると思うが少しずつ人数を増やしていきたい。
- ・自殺する子供の数がだいぶ増えており、子供が追いやられている現状があるので、真摯にそちらに向くような体制が県でも顕著に現れればと思う。
- ・学校の健診で服を脱ぐのが駄目だという父兄もいらしたり、ご本人もいらしたりする。それで虐待もある程度見つかる可能性もあるのではないかとと思うが、その辺もどなたも結論を出してくれないという状況にあるので、また頑張っていかなければならないと思っている。

〈委員からの質問〉

- ・ 継続の案件がほとんどを占めており、新規事業が少額で基金が硬直化しているので、どうにかして一旦終わらせて新たな大きな案件をしたらどうかというお話かと理解した。現在、大きな案件でこれをやりたいということが何かあるのか。

〈委員の意見〉

- ・ 今年はもう済んでしまっているのに、次の年の年度の要望になる。県全体の話になるため、郡市や病院単位で出してもなかなか難しいというところがあるので、大きな輪を作って出していただければ、多分、予算も十分取れるのではないかと。ぜひそういう格好で、今ある事業の上乗せのような格好で大きいものにしていけば、それなりの予算にできるのではないかと私自身は考えているので、そのようなことができればと思う。

〈委員からの質問〉

- ・ もし大きな額の案件を考えるとすると、いろいろアイデアがあるので何かそういう提案をして採用される可能性があるというのであれば、募集をかけていただきたい。

〈事務局回答〉

- ・ 6月1日から募集をしているので、その中でお話を伺うことになる。

〈委員の意見〉

- ・ 基本的には財源は限られている。トータルのパイが限られているので、新規を出すためには全体の中でスクラップアンドビルドが必要であると考えている。今までやっているものをやめることで、新たなものができるという考え方もあり、今までやっていたものを組み替えて、さらに発展的にやるということもあり得ると思うので、あくまで、全体のパイが限られる中で、より良いものをみんなで選んでいこうという趣旨ということで、追加させていただく。よろしく願います。

以 上